

第22回 島根県雲南市「永井隆平和賞」について

1. 作品募集について

趣旨（要約）…放射線医学の研究と原子爆弾により、白血病に侵されながらも「如己愛人」「平和を」の願いを全世界に訴え続けた永井隆博士の精神を若い世代に伝え、人類普遍のテーマに取り組む機会と出会いの場を提供し、明るい日本の未来づくりに期する。

募集内容…「愛」と「平和」に対する考えや、メッセージを表現した作文及び小論文

※内容が応募の趣旨にそったものであれば、テーマの範囲を戦争論、平和論に限定せず、人と人、人と自然との関わりまで広くとらえていただいてもかまわない。

募集期間…平成24年7月1日～7月31日（当日必着）

告知方法…各新聞、放送、インターネット及びポスター・チラシ、公募ガイド掲載

全国の小中学校、高等学校、海外の日本人学校に要項送付またはメールにて告知（東日本大震災で甚大な被害があった地域を除く）。

2. 応募状況

応募総数…1,993点（23年度 2,124点）

島根県内 1,769点（雲南市内 1,710点） 島根県外 224点

全国35都道府県と海外より応募があった（海外からの応募は5）。

部門	小学生（低）	小学生（高）	中学生	高校生	一般
応募数	198	791	729	162	113

※応募総数は第22回までで56,358点

3. 選考について

1次選考委員会…8月1～2日 選考委員は市内小中学校教諭・高等学校教諭

市内会場 応募作品の中から5部門各15点ずつを選出（小学生低学年の部は10点）

2次選考委員会…8月10日 選考委員6名（元島根国文学会会長等）

市内会場 各部門7～11点を選出

最終選考委員会…8月22日 選考委員は別添要項を参照ください。

東京都内会場 各部門の最優秀賞、優秀賞、佳作 を決定

入賞作品は裏面のとおりです。

4. 発表式典について

日程…別添「第22回島根県雲南市『永井隆平和賞』発表式典」を参照ください。

参加について…昨年同様市内全校の6年生が参加（複式学級については、5年生も参加）中学校生徒については自由参加

記念イベント…佐々木祐滋（ゆうじ）氏 コンサート

「未来へと続くNEGAI ～はばたけ折り鶴、サダコのINORIを翼にのせて～」

佐々木祐滋さんは、広島平和記念公園の原爆の子の像のモデルで12歳で亡くなった佐々木禎子さんの甥。禎子さんをモチーフにした楽曲を作り、世界各地で高い評価を得ている。全国の小中学校でのライブは300校をこえ、また平和イベントにも参加。禎子さんが入院中に祈りをこめて千羽鶴を折られたことを曲にされた「INORI（いのり）」は今年のNHK紅白歌合戦でクミコが歌い話題となった。歌を通じて平和、命の尊さを訴える活動をしている。

展示…「平和のポスター」三刀屋ライオンズクラブ

「サダコと折り鶴ポスター」広島平和記念資料館から借り受け展示（別添）

「永井隆記念館特設展」長崎・三刀屋両記念館から資料を借り受け展示

「ヒロシマの校庭から届いた絵」広島市立本川小学校同窓会から借り受け展示（別添）